

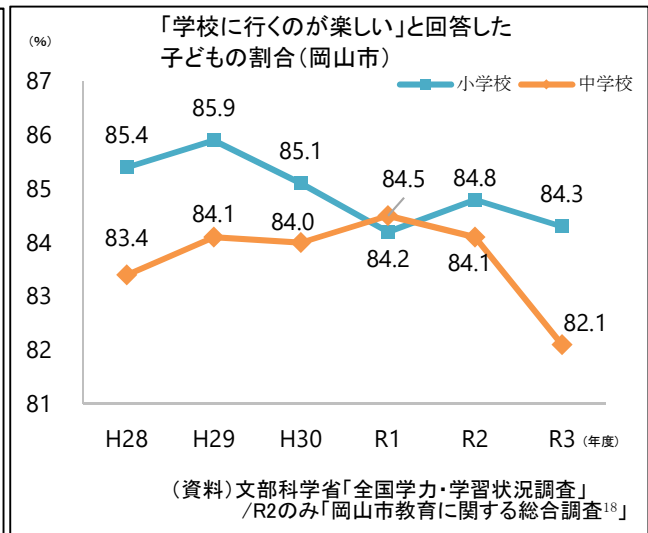
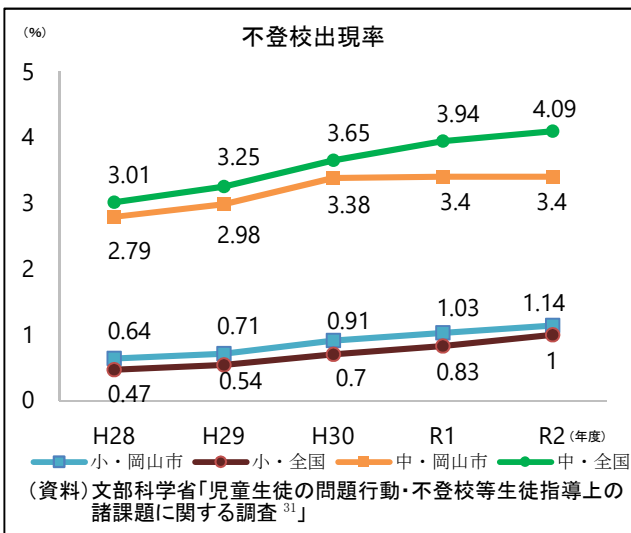
## 政策4

## 一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

### ■ 施策4-1 一人一人を大切にしたい集団づくりの推進

#### 現状と課題

- 子どもの意識を調べる質問紙調査（全国学力・学習状況調査<sup>17</sup>等）で子どもの所属感や満足感、達成感を把握しながら個別に対応することで、「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合は8割を超えて推移しているものの、否定的な回答も見られるため、今後も引き続き、一人一人を大切にしたい学級集団づくりの実現に向けて取り組んでいく必要があります。
- 暴力行為やいじめ、不登校の状況については、依然として目標の達成に至っていません。特に小学校での不登校が増加傾向にあります。



#### 施策の方向性

- 安心して学び合うことができる集団づくり、学級づくり、仲間づくりを進め、子どもが「学校が楽しい」と思える基盤づくりや、問題行動等の未然防止に取り組むとともに、「早期発見・早期対応」と「継続的な対応」を徹底します。

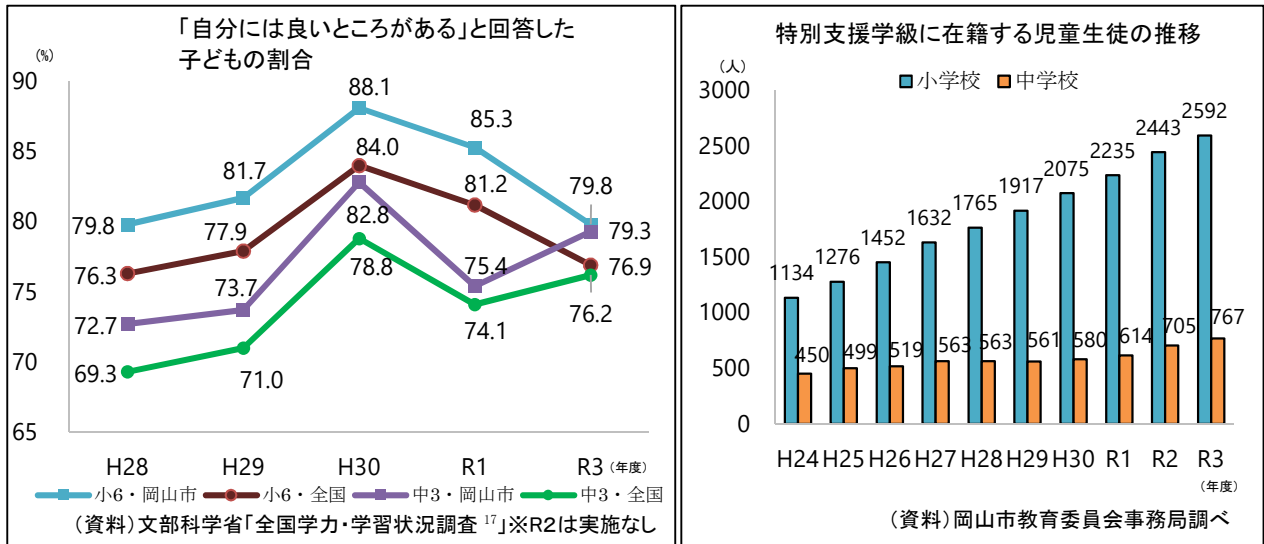


中学生の生徒会活動活性化に向けた取組（しゃべりんびっくの取組紹介）

## ■ 施策4-2 一人一人の課題に応じたきめ細かな支援

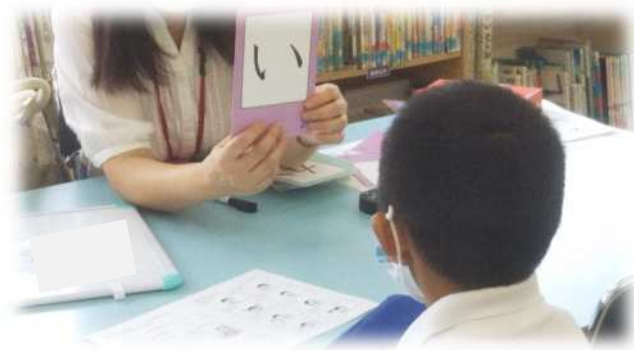
### 現状と課題

- 教職員が連携し、障害のある子どもが「自分には良いところがある」と思える場面を設定して、障害特性に合わせた支援を行うことが、子どもの自己肯定感の高まりにつながっています。また、帰国・外国人児童生徒を含め、多様な背景をもつ子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、日本語指導及び適応支援等を実施しています。



### 施策の方向性

- 多様な背景をもつなど、支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、関係局や医療・福祉等の関係機関と連携し、専門的な相談ができる体制づくりや校内の支援体制の充実を進めます。



日本語指導の様子

## 政策4の評価指標

指標名	基準値（R3）	目標値（R7）
「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合 ★	小 84.2% 中 82.7%	小 90.0% 中 88.0%
「自分には良いところがある」と答えた子どもの割合	小 79.8% 中 79.3%	小 85.0% 中 80.0%
児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数	小 8.3件 中 12.7件 (R2)	小 6.5件以下 中 7.7件以下 (R6)
いじめの解消率（いじめの認知件数に対する解消率）	66.7% (R2)	77.4%以上 (R6)
不登校の出現率	小 1.14% 中 3.40% (R2)	小 0.82%以下 中 2.80%以下 (R6)

★は岡山市第六次総合計画後期中期計画<sup>4</sup>の指標であるためR3は参考値

施策	主な事務事業	担当課
施策4-1	◆スクールカウンセラー <sup>36</sup> 配置事業	指導課
	◆不登校児童生徒支援員 <sup>37</sup> 配置事業	指導課
	◆教育支援アドバイザー <sup>38</sup> 配置事業	指導課
	◆生徒指導関係事業	指導課
	◆いじめ専門相談員 <sup>39</sup> 派遣事業	指導課
	◆問題行動等対策事業	指導課
施策4-2	◆就学援助事業	就学課
	◆日本語指導支援員派遣事業	指導課
	◆共に生きる子どもを育てる障害児支援事業	指導課

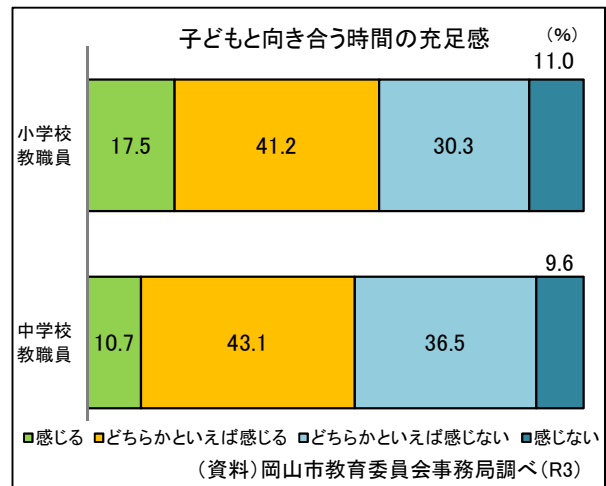
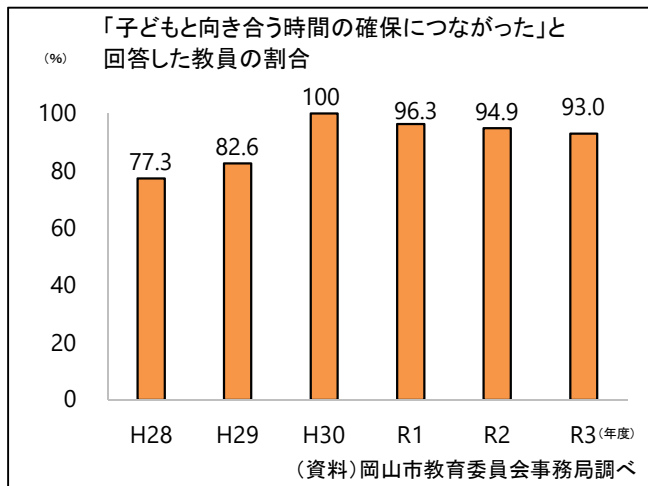
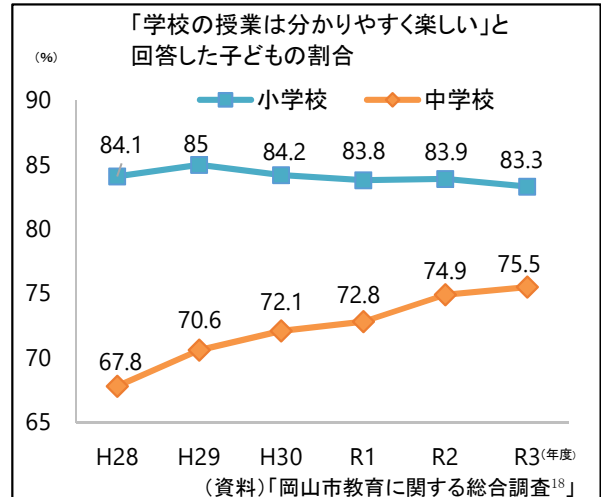
## 政策5

## 学校園の教育環境の充実

### ■ 施策5-1 教職員の資質・能力の向上と支援体制の充実

#### 現状と課題

- 教職員研修や教育研究を通して、教職員の資質・能力の向上を図ってきた成果として「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答えた子どもの割合は、特に中学校で大きく増加しています。
- 「部活動指導員<sup>40</sup>配置事業」や「自動応答電話の導入」、「打刻システム<sup>41</sup>の整備」等、学校における働き方改革を推進し、教職員の負担軽減を進めました。「子どもと向き合う時間の確保につながった」と答えた教員の割合は平成30年度以降は9割を超え、高い割合を維持していますが、「子どもと向き合う時間が充足している」と回答した教職員の割合は6割弱程度であり目標値には到達していません。



#### 施策の方向性

- 教職員の人権感覚を含む資質・能力向上に資するため、子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）<sup>14</sup>の育成など、喫緊の課題に対応しながら教職員研修の充実を図るとともに、若手教職員の授業力等の向上に係る取組を推進します。
- 教職員が、教材研究などに専念する時間や、子ども一人一人と向き合う時間の確保によって子どもの成長を実感し、やりがいを感じられるよう、教職員への支援体制を充実させます。

## ■ 施策5-2 安全・安心で快適な教育環境の整備

### 現状と課題

- 令和2年度の夏から全ての小中学校で空調設備が使用できるよう整備し、学びに集中できる教室環境が整いました。
- 令和2年度のGIGAスクール構想<sup>12</sup>の加速化に伴い、校内のネットワーク環境整備や1人1台端末の配備をしました。

### 施策の方向性

- 安心して学べる教育環境の充実に向けて、より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備等を行います。
- 多様な学びの機会を保障し、質の高い教育を目指すため、ICT<sup>13</sup>環境等の充実に努めます。

### 政策5の評価指標

指標名	基準値 (R3)	目標値 (R7)
「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答えた子どもの割合	小 83.3% 中 75.5%	小 87.0% 中 82.0%
「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合 ★	56.5%	61.0%
「学校園は、学びやすい環境づくりや安全などに配慮して施設・設備を整えている」と答えた保護者の割合	92.7%	95.9%

★は岡山市第六次総合計画後期中期計画<sup>4</sup>の指標であるためR3は参考値

施策	主な事務事業	担当課
施策5-1	◆学校業務アシスト事業	教職員課
	◆魅力ある教員の確保事業	教職員課
	◆学校問題解決サポート事業	指導課
	◆学校園における人権教育の充実	指導課・幼保運営課
	◆部活動指導員 <sup>40</sup> 配置事業	保健体育課
	◆ICT活用指導力向上事業	教育研究研修センター
	◆教職員の力量を高める教育研究事業	教育研究研修センター
	◆英語指導力向上のための研修プログラム	教育研究研修センター
	◆OJT <sup>42</sup> 若手教員育成支援プロジェクト	教育研究研修センター
	◆教職員研修事業	教育研究研修センター・幼保運営課



施策5-2	◆学校施設長寿命化改修事業	学校施設課
	◆義務教育学校施設整備事業	学校施設課
	◆学校空調設備整備事業	学校施設課
	◆学校図書館の充実	指導課
	◆学校給食施設整備事業	保健体育課
	◆ICT <sup>13</sup> 環境整備事業	教育研究研修センター



学校業務アシスト職員による学校業務の補助



学校での人権教育の取組



魅力ある教員採用に向けた広報活動



教職員研修



1人1台端末の教室内保管庫

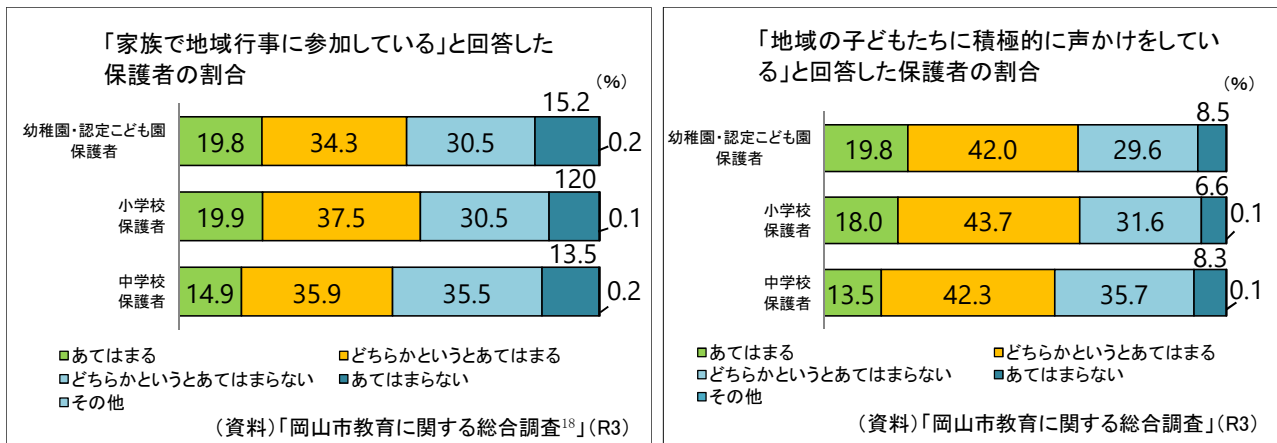
## 政策6

## 家庭、地域社会の教育環境の充実

### ■ 施策6-1 家庭の教育力向上への支援

#### 現状と課題

- 子どもや学校園に関する課題が多様化・複雑化しており、子どもを健やかに育むための家庭や地域社会との協働体制の一層の充実に努めました。



#### 施策の方向性

- 家庭教育の啓発や家庭教育に関する学習機会の提供、家庭教育支援団体相互のネットワーク強化などを通して、家庭教育を支援し、家庭における人権感覚を含めた教育力の向上を図ります。

### ■ 施策6-2 地域社会の教育環境の充実

#### 現状と課題

- 地域学校協働活動<sup>21)</sup>によって、ほとんどの学校園が地域社会との連携が充実したと感じており、学校園の活性化につながっています。
- 全中学校区にある公民館では、地域社会の生涯学習環境の充実に努めました。
- 地域社会と学校園の架け橋としての役割である地域学校協働活動推進員<sup>43)</sup>の担い手が不足しており、実施学校園の拡充が課題となっています。

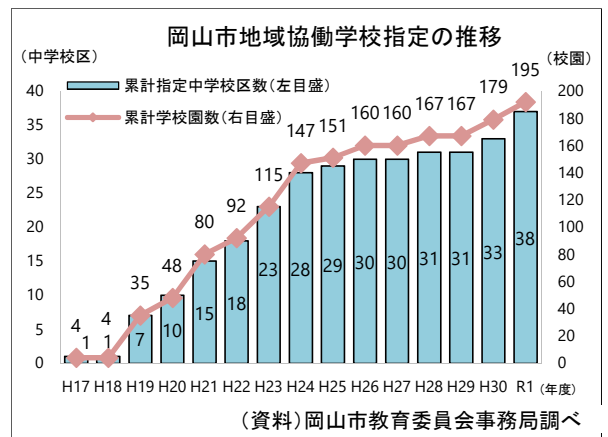
## 施策の方向性

- 地域学校協働活動推進員<sup>43</sup>を通して学校支援ボランティア<sup>22</sup>の活動を充実するなど、地域ぐるみで学校園を支える体制づくりを進めるとともに、地域の教育力向上を図ります。
- 社会教育施設等を活用し、地域の多様な人々と連携し、学びを通じた持続可能な地域づくりの取組の充実を図ります。

## ■ 施策6-3 家庭、学校園、地域社会の協働体制の確立

### 現状と課題

- 令和元年度末には、保護者や地域住民等の学校園への参画を促す「岡山市地域協働学校<sup>19</sup>（コミュニティ・スクール）」の岡山市の全ての中学校区学校園への設置が完了しました。
- 学校関係者評価<sup>44</sup>の実施や学校運営協議会<sup>20</sup>の開催など保護者や地域住民等の意見を反映した学校園運営を行うことができるようになりました。
- 地域学校協働活動<sup>21</sup>との連携をさらに進めるとともに、学校運営協議会の取組を充実させることが求められています。



## 施策の方向性

- 家庭、学校園、地域社会が協働して、未来を担う子どもを持続的に育てていくことができるよう、学校運営協議会の役割の理解促進と協議会の活性化に努めます。

## 政策6の評価指標

指標名	基準値 (R3)	目標値 (R7)
「年齢に応じた役割を子どもに与えている」と答えた保護者の割合	78.9%	81.7%
市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数 ★	5.4冊 (R2)	6.4冊
公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数 ★	384,961人 (R2)	738,000人
地域協働学校の学校運営協議会の開催回数	平均2.46回 (R2)	平均3回以上
公民館基本方針重点分野の事業への参加者数 ★	22,000人 (R2)	62,000人

★は岡山市第六次総合計画後期中期計画<sup>4</sup>の指標であるためR3は参考値



施策	主な事務事業	担当課
施策 6-1	◆PTA における人権教育の充実	指導課・幼保運営課
	◆スクールランチセミナーの充実	保健体育課
	◆家庭教育支援事業	生涯学習課
	◆絵本の読み聞かせ事業	中央図書館
	◆子育て支援「のびのび親子広場」事業	幼保運営課
施策 6-2	◆夜間中学設立準備検討事業	就学課
	◆公民館建設・整備事業	生涯学習課
	◆夜間教室運営事業	生涯学習課
	◆公民館 ESD <sup>11</sup> ・SDGs <sup>26</sup> 活動推進事業	生涯学習課
	◆公民館運営事業（公民館基本方針の推進）	生涯学習課
	◆岡山中央中学校区公民館建設事業	生涯学習課
	◆郷土資料の保存と活用	中央図書館
	◆図書館施設の改修及び修繕	中央図書館
	◆インターネット予約図書事業	中央図書館
	◆連携中枢都市圏 <sup>45</sup> 図書館相互利用	中央図書館
	◆図書館業務システム活用による市民サービスの向上	中央図書館
	◆子ども会リーダー・育成者研修事業	地域子育て支援課
	◆わくわく子どもまつり	地域子育て支援課
	◆放課後子ども教室推進事業	地域子育て支援課
◆新成人の集い事業	地域子育て支援課	
施策 6-3	◆広報広聴活動の充実事業	教育企画総務課
	◆地域協働学校 <sup>19</sup> の活性化と学校評価の充実	指導課
	◆地域と学校協働活動推進事業	生涯学習課



PTA 人権教育研修会



子そだておうえんハッピータイム



地域の方の協力による芋植え体験  
(地域と学校との協働活動)



わくわく子どもまつり



放課後子ども教室



目指す子ども像の共有 (学校運営協議会<sup>20</sup>)